東北都市学会仙台大会を開催

2009 年 10 月 6 日　事務局

2009 年度大会は、2009 年 9 月 26 日(土)・27 日(日)の両日にわたり、宮城県仙台市の東北大学片平キャンパスさくらホール会議室を会場に開催されました。第 1 日目は、公開シンポジウム、懇親会が行われ、第 2 日目は、研究発表が行われました。

１日目　シンポジウム風景

シンポジウムのテーマは「仙台・まちなかの集客パワーを考える」として、主に仙台の中心市街地の活性化に関する活発な議論が交わされました。高橋英博会員から『「まちなか」の変容と「わたし」消費』の報告により問題意識の提起がなされ、パネルディスカッションでは高橋会員に加え、高橋和夫氏（地域経営研究所代表）、宮島徹氏（(株) 藤崎人事部部長)、千葉久美氏（(財) 仙台観光コンベンション協会常務理事)、荒川雅光氏（(社) 国分町まちづくりプロジェクト理事）がパネリストとして、佐藤直由会員によるコーディネートのもとで、「商店街の魅力をどう捉え直すか」を起点に、「中心市街地への回帰を生み出すための仕掛けづくり」、さらに「活性化の担い手をどうするか」など、多面的な視点による検討がなされました。

２日目　研究発表風景

２日目は同会場にて５件の研究発表が行われました。午前の部は松本行真会員の「問題解決の場としてのコミュニティ再構築にむけて―四市町内会調査から―」、松本会員・飯島美奈帆氏の「直売所におけるマーケティング戦略―道の駅よつくら港の取組を例に―」、午後の部は初沢敏生会員の『北海道江差町の「歴史を生かすまちづくり」と地域づくり』、日野正輝会員の「仙台における賃貸オフィスビルの空室率の増大の背景と実態」、野々山和宏会員の「東北圏広域地方計画からみる東北の将来展望についての一考察」が、発表 25 分・討議 10 分で行われました。本大会は発表件数が少なく、１件あたりの発表時間を長くとれたために、活発な議論がなされました。

また、同日に理事会・会員会が開催され、**次年度の大会開催地は青森県弘前市に決定**しました。開催時期などの詳細につきましては、東北都市学会ＨＰや都市フォーラムにてお知らせいたします。次年度開催に向け、いくつかの企画も予定しております。会員をはじめ皆さまのご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

東北都市学会事務局　松本行真